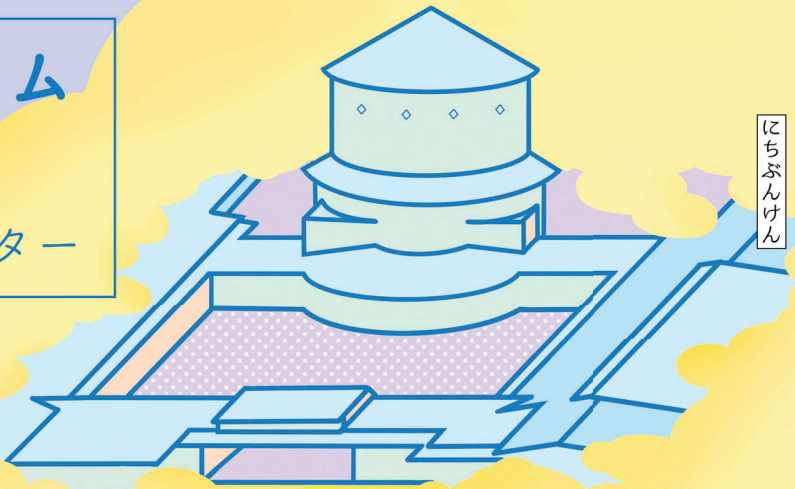


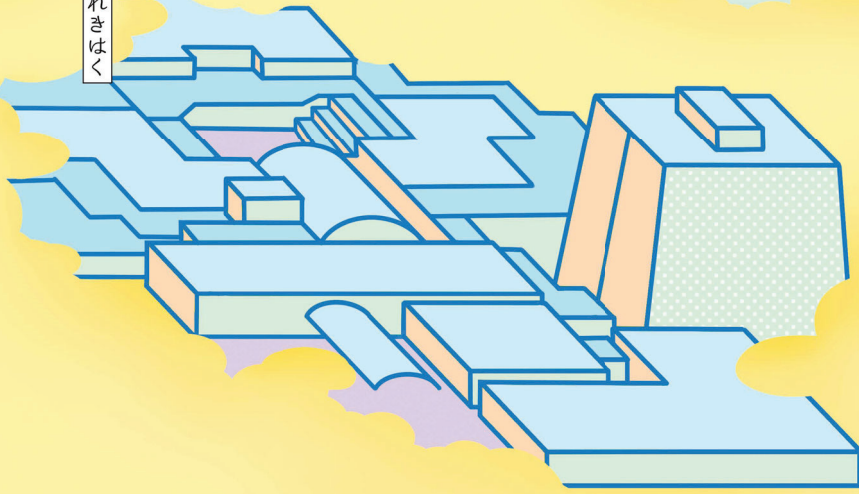
総研大文化フォーラム

2020 12/5(土)
12/6(日)

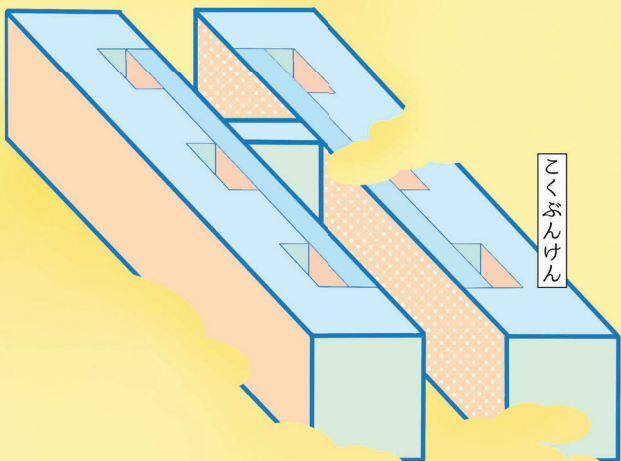
会場 / 国際日本文化研究センター



にちぶんけん



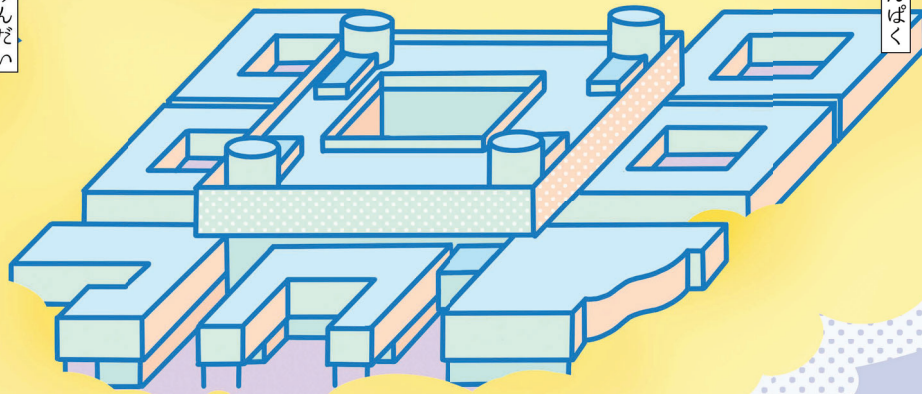
れきはく



こくぶんけん



そうけんだい



みんぱく

文化のレジリエンスとは？

< 異 > を コ な ぎ 、 未 来 >

オンライン参加可能

主催 総合研究大学院大学文化科学研究科
後援 「国際日本研究」コンソーシアム
会場 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター
京都府京都市西京区御陵大枝山町3丁目2
問合せ 国立大学法人 総合研究大学院大学 学務課学務支援係
Tel : 046-858-1583, 1531, 1647 E-mail : gshien@ml.soken.ac.jp

12 受付・開会式
基調講演 小松和彦
国際日本文化研究センター名誉教授
12/5 口頭発表
ポスター発表

12 ポスター発表
口頭発表
12/6 シンポジウム
閉会式

参加申込方法
最新情報はこちらから



※ 新型コロナウイルスの影響により、会場やスケジュールなどは変更になる場合があります。最新情報はQRコードより当フォーラムの特設ページをご確認ください。

文化のレジリエンスとは？
Sokendai Cultural Resilience Forum
 とは 2020
 〈異〉をつなぎ、未来へ

今、私たちは、新型コロナウイルス(COVID-19)をはじめとし、国家間対立、民族紛争、自然災害など様々な困難に直面し、文化や文化研究に何ができるのかを問われています。

人類の歴史を振り返ると、こうした予期せぬ事態に幾度となく見舞われ、そのたびに試行錯誤し、乗り越えてきました。私たちは文化の柔軟性や多様性を考え信じることによって、〈異〉なるもの同士の対話を促し、未来に向けて歩を進めていかなければなりません。そこで、本年度のテーマは「文化のレジリエンスとは？ -〈異〉をつなぎ、未来へ-」を掲げます。

レジリエンスとは「復元力」「反発性」「弾力性」「再起性」「適応力」「柔軟性」「回復性」などといった広い意味合いを持った言葉です。今回のフォーラムではあえて定義をせず、多彩な視点から「文化のレジリエンス」を検討することによって、文化科学の可能性を共有したいと思います。さらに、文化科学研究の知見で社会におけるレジリエンスを問い直すという、より踏み込んだ視点も提供したいと考えています。

今年の総研大文化フォーラムは、国際日本文化研究センターをメイン会場とし、オンラインでの参加もできるように環境を整備します。学問的垣根を問わず、様々な〈異〉をつなぎ機会となるように、皆様の参加をお待ちしております。

12.5^[土]

13:00

10:00~12:00 接続チェック

受付・開会式

基調講演 小松 和彦 名誉教授
 国際日本文化研究センター

口頭発表

ポスター発表

18:00

12.6^[日]

10:00

ポスター発表

口頭発表

シンポジウム

閉会式

16:30

主催
 後援
 会場

総合研究大学院大学文化科学研究科
 「国際日本研究」コンソーシアム
 人間文化研究機構 国際日本文化研究センター
 京都府京都市西京区御陵大枝山町3丁目2

問合せ

国立大学法人 総合研究大学院大学 学務課学務支援係
 Tel: 046-858-1583, 1531, 1647
 E-mail: gshien@ml.soken.ac.jp

アクセス

- JR京都駅（烏丸中央口）から
 京阪京都交通バス「21」、「21A」、「26」で約45分
- JR桂川駅から
 ヤサカバス「1」、「6」で約30分
- 阪急桂駅（西口）から
 京都市バス「西5」、「西6」で約30分
 京阪京都交通バス「20」、「20B」で約20分
 ※バスはいずれも「桂坂中央」行き、「桂坂小学校前」
 又は「花の舞公園前」下車で徒歩約5分

オンライン参加方法

<https://www.soken.ac.jp/event/6723/>
 あるいはQRコードからご確認ください

